



# コンテンツ スイッチング モジュール コマンドの使用

---

この章では、Content Switching Module (CSM; コンテンツ スイッチング モジュール) の設定方法について説明します。

- [CSM コマンドの使用 \(p.12-2\)](#)
- [コマンドモード \(p.12-3\)](#)

## CSM コマンドの使用

ここでは、CSM コマンドについて簡単に説明します。CSM の設定および使用方法の詳細については、該当する各項を参照してください。

次に、基本的な操作を行うための CSM コマンドを示します。

コマンド	操作
<b>write memory</b>	設定を保存します。
<b>write terminal</b>	設定を参照します。
<b>logging buffered debugging</b>	システム ログ (Syslog) メッセージを収集します。
<b>show logging</b>	システム ログ (Syslog) メッセージを表示します。
<b>clear logging</b>	メッセージバッファを消去します。

CSM の CLI (コマンドライン インターフェイス) を使用すると、次の操作が実行できます。

- コマンドを入力する前に構文を確認します。  
コマンドを入力して ? キーを押すか、または **help** コマンドに続けてコマンドを入力すると (例: **help aaa**)、サマリーが表示されます。
- コマンドの短縮形を使用します。  
設定モードを開始する場合は **config t** コマンド、設定を表示する場合は **write t** コマンド ステートメント、フラッシュ メモリに書き込む場合は **write m** コマンドを使用します。ほとんどのコマンドで、**show** コマンドは **sh** に短縮できます。この機能は、コマンド完成機能といいます。
- Internet Assigned Number Authority (IANA) の Web サイトでポート番号およびプロトコル番号を確認します。  
<http://www.iana.org/assignments/port-numbers>  
<http://www.iana.org/assignments/protocol-numbers>
- テキスト エディタで設定を作成し、カットアンドペーストで設定を編集します。  
カット アンド ペーストは 1 行ごと、または設定全体で行えます。広い範囲をペーストしたときには、誤りがないように必ず設定を確認してください。

CSM の設定方法の詳細については、『*Catalyst 6500 Series Content Switching Module Installation and Configuration Note*』を参照してください。

CSM に関する技術資料は、次の URL からオンラインで参照できます。

[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/lan/cat6000/mod\\_1cn/csm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/lan/cat6000/mod_1cn/csm)

## コマンドモード

CSM では Cisco IOS 技術に基づくコマンドセットを使用でき、次の各コマンドモードを利用してコマンドイネーブルモードで設定変更できます。



(注)

Catalyst オペレーティングシステムが稼働しているスイッチで CSM を使用する場合、ルータ プロンプトを表示するために Multilayer Switch Feature Card (MSFC; マルチレイヤ スイッチ フィーチャカード) とのセッションを開始する必要があります。

- ユーザモード

ユーザモードを使用すると、CSM の設定を確認できます。CSM にアクセスすると、ユーザモードのプロンプトが次のように表示されます。

```
Router>
```

- イネーブルモード

ユーザモードのコマンドはすべてイネーブルモードで使用できます。ユーザモードからイネーブルモードを開始するには、次のように **enable** コマンドを使用します。

```
Router> enable
Password:
Router
```

#プロンプトが表示されます。

イネーブルモードを終了してユーザモードに戻るには、次のように **exit** または **end** コマンドを使用します。

```
Router# exit
```

```
Logoff
```

```
Type help or '?' for a list of available commands.
Router>
```

イネーブルモードを終了してユーザモードに戻るには、次のように **disable** コマンドを使用します。

```
Router# disable
Router>
```

- コンフィギュレーションモード

コンフィギュレーションモードを使用すると、CSM の設定を変更できます。このモードでは、イネーブルモード、ユーザモード、およびコンフィギュレーションモードのすべてのコマンドが使用できます。コンフィギュレーションモードを開始するには、次のように **configure terminal** コマンドを使用します。

```
Router# configure terminal
Router(config)#
```

コンフィギュレーションモードを終了してイネーブルモードに戻るには、次のように **exit** または **end** コマンドを使用します。

```
Router(config)# end
Router#
```

コンフィギュレーションモードを終了してユーザモードに戻るには、次のように **disable** コマンドを使用します。

```
Router(config)# disable
Router>
```

- サブモード  
サブモードでは、プロンプトが次のように表示されます。  
Router(config-submode\_name)#

## 正規表現

CSM コマンドで使用される正規表現は、UNIX のファイル名仕様に準拠します。正規表現は、次のコマンドで使用します。

- [match protocol http cookie](#) (cookie マップ サブモード) (p.22-21)
- [match protocol http header](#) (ヘッダー マップ サブモード) (p.22-26)
- [match protocol http url](#) (URL マップ サブモード) (p.22-30)

正規表現	意味
*	0 個以上の文字
?	1 文字 — [Ctrl+V] の入力が必要
\	エスケープ文字
	または
[ ] で囲まれた範囲 (例 : [0-9])	範囲内のあらゆる 1 文字と一致
範囲の先頭に ^ を付加	範囲内のどの文字とも一致しない
.\a	アラート (ASCII 7)
.\b	バックスペース (ASCII 80)
.\f	フォーム フィールド (ASCII 12)
.\n	改行 (ASCII 10)
.\r	Carriage Return (CR; 復帰) (ASCII 13)
.\t	タブ (ASCII 9)
.\v	垂直タブ (ASCII 11)
.\0	ヌル (ASCII 0)
.\	バックスラッシュ
.\x##	2 桁の 16 進表記で指定されたあらゆる ASCII 文字